

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026年5月20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	坂井汽船株式会社
所 在 地	〒737-2608 広島県呉市川尻町小用 2-6-11
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 坂井 雅秀
担 当 者 連 絡 先	電 話：0823-87-2293
	メール：sakai@sakaikisen.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.sakaikisen.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

国内の日常生活に欠かせない石油製品のタンカーによる海上輸送に携わって参りました。今後も石油産業の一翼を担う船主としての自負のもと、安全輸送、高度な品質管理、並びに海洋環境保護を最重要課題と認識し、未来につながる様々な取り組みを図って参りたいと存じます。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	従業員みんなが働きたいと思える 職場環境づくり	・船内就労状況のクラウド管理や、司厨長の配置、乗船期間の短縮化、雇用延長制度等、従業員が働きやすい環境の整備を継続 ・社内教育の充実や海技士資格取得への補助支援等、人材育成取組みを継続
✓環境 □社会 ✓経済	環境保全取組みにより 海で働く者としての責任を果たす	・船内外の備品や事務用品に省エネ・エコ用品を使用し、運行中に発生するゴミ・廃油・スラッジを再生業者へ引渡す等、環境負荷を低減する取組みを継続 ・運航中のエンジン負荷率を記録する等、省エネ運航に取り組み、燃料消費量を減少させることを通じて CO2 削減を推進
□環境 ✓社会 ✓経済	従業員の安全と継続可能性に配慮した 事業運営	・ISM コードに準拠した運行管理・組織運営やハラスメント講習の定期的な実施により、従業員への安全配慮を継続 ・リスクマネジメントの一環として BCP（事業継続計画書）を策定し、緊急時対応を明確化することで持続可能な事業運営を推進

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15		
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13				

